

令和 8 年度 第 1 回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

1. 調査概要

1.1. 目的

今回の研究会に対する満足度や参加者の意見、今後の研究会へのニーズを把握し、今後の企画・運営改善に活用することを目的として実施する。

1.2. 実施日

2026 年 7 月 1 日（水）研究会終了後

1.3. 調査対象

令和 8 年度 第 1 回ゼロカーボン研究会の参加者 51 名を対象にアンケート調査を行った。

1.4. 調査方法

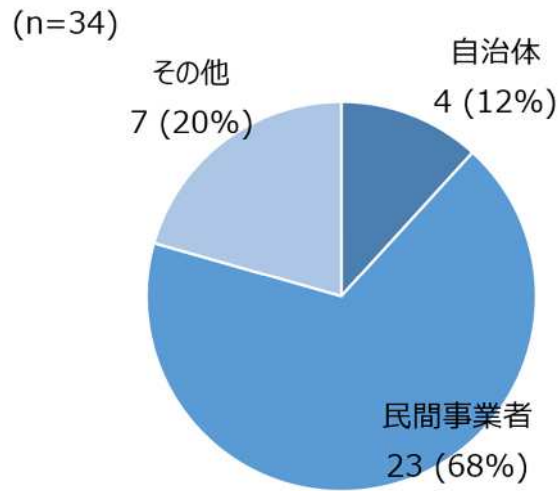
アンケート形式は、用紙記入、web 記入の回答方法とした。

1.5. 回収状況

回答数：34 件（回収率：67%）

2. アンケート結果

1) アンケート回答者の所属区分

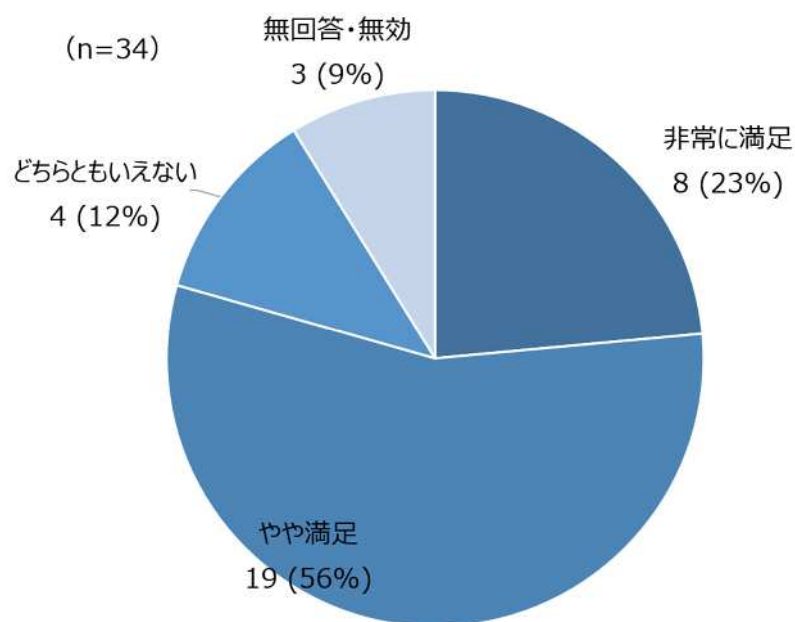


【その他の内容】

- ・ 国（3件）
- ・ NPO法人（2件）
- ・ 商工会議所
- ・ 未記入

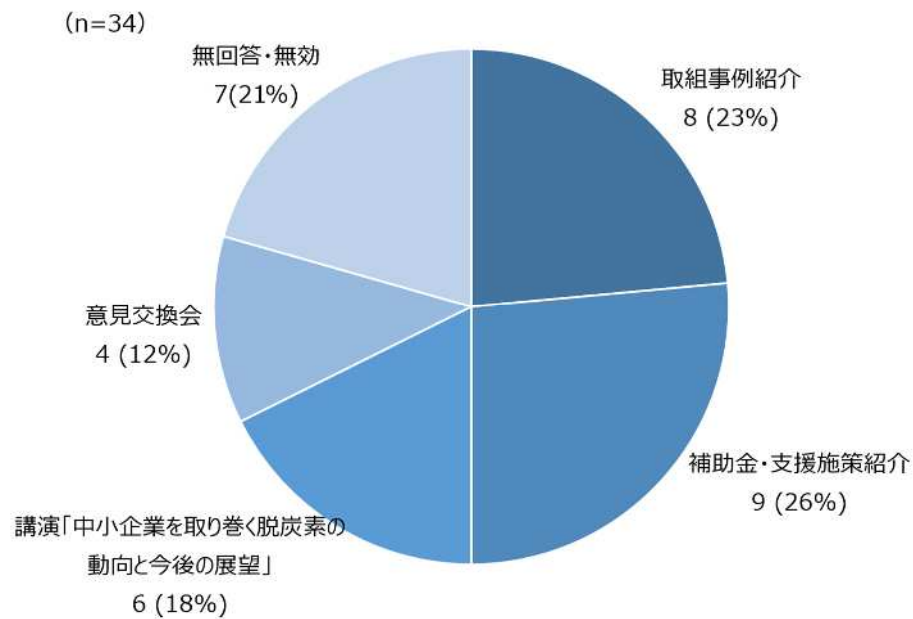
2) 今回の研究会に対する満足度を教えてください。

- 満足度は「やや満足」が最も多く、全体の56%であった。また79%が満足したと回答した。



3) 特に参考になったプログラムをお選びください。

➤ 「補助金・支援施策紹介」が最も多く、次いで「取組事例紹介」が多かった。

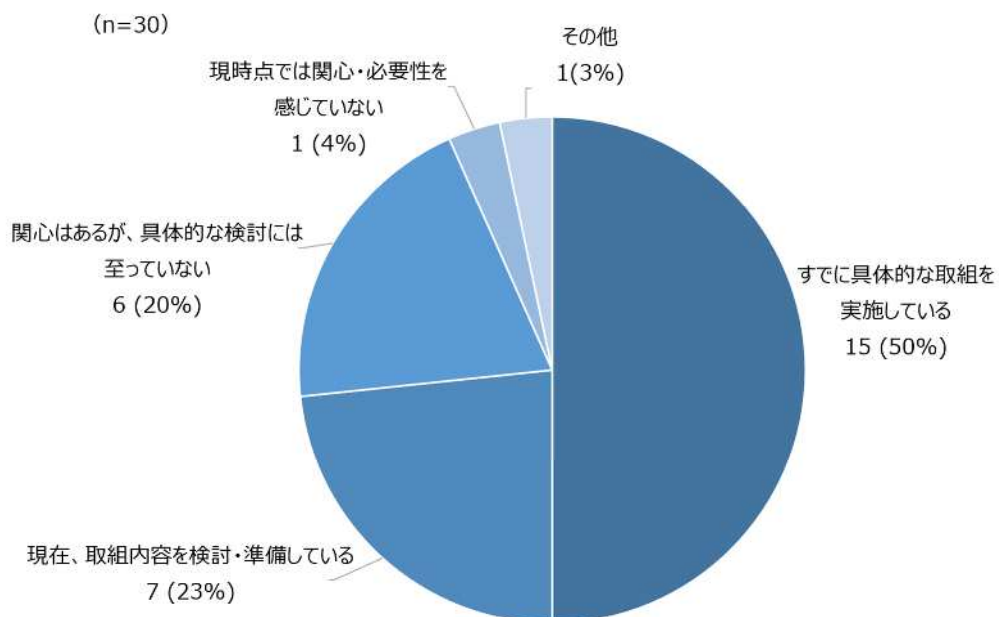


4) 貴社・貴組織の脱炭素・省エネへの取組状況をお聞かせください。

➤ 「すでに具体的な取組を実施している」が最も多く、次いで「現在、取組内容を検討・準備している」が多かった。

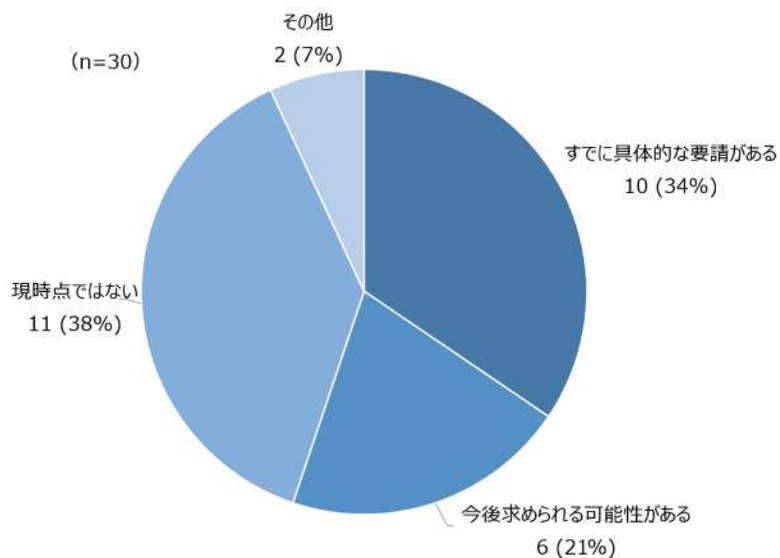
➤ その他の内容

- ・ 商用車を電気自動車に入れ替えている程度



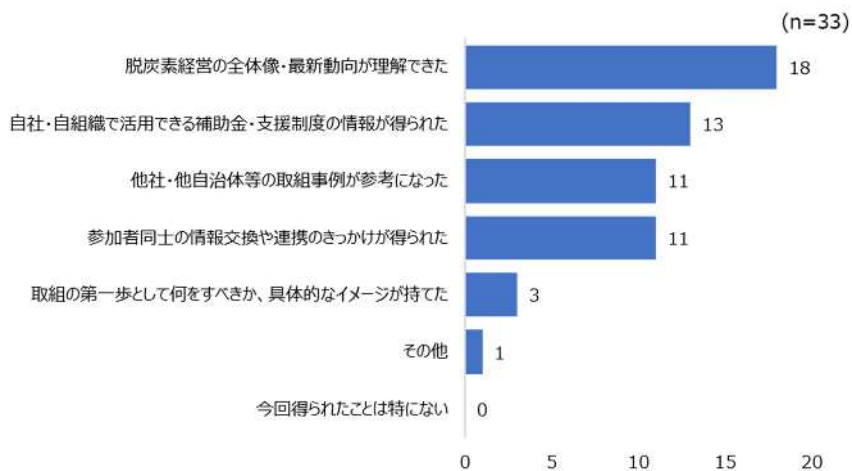
5) 取引先・顧客等から、脱炭素・省エネ・CO2 排出量把握等に関する要請はありますか。

- 「現時点ではない」が最も多い一方で、「すでに具体的な要請がある」「今後求められる可能性がある」とする回答が 55% となった。
- その他の内容
 - ・ 環境省につき直接求められることはないが、民間事業者との面談の中で話を聞いたことはある。
 - ・ 官公庁のため要請という意味では特にありません。



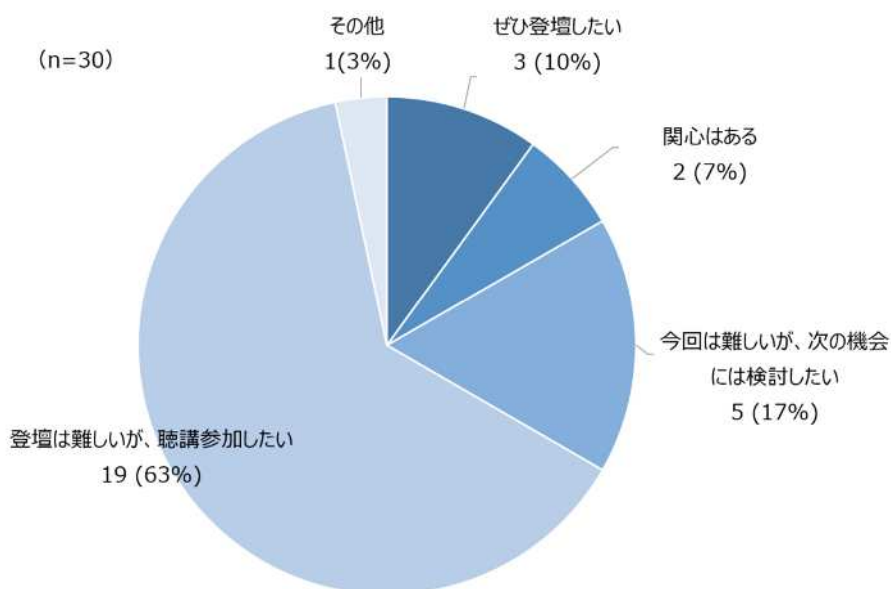
6) 本日の参加を通じて得られたこと・今後に活かせるようなことをお選びください。(複数選択可)

- 「脱炭素経営の全体像・最新動向が理解できた」が最も多く、次いで「自社・自組織で活用できる補助金・支援制度の情報が得られた」が多い結果となった。
- その他の内容
 - ・ 一時期よりカーボンニュートラルという言葉が減っているので今後の参考にと参加したが継続していけば企業価値に繋がると言う事を知った。中小企業がやらなくてもいいと言う事ではないことも気づけた



7) 令和8年11月に大規模イベントを予定しています。ショートピッチ（取組発表）へのご登壇にご関心はありますか。

➤ 「登壇は難しいが、聴講参加したい」とする回答が最も多かったものの、「ぜひ登壇したい」「関心はある」とする回答もみられた。



8) ショートピッチで発表可能な内容がありましたら、差し支えない範囲でご記入ください。

- GHG 排出量の算定管理クラウドの提供
- PPA、ZEB、EV 関連、省エネ診断
- 遮熱対策品の紹介
- 農業分野での CO2 削減の取組み
- PPA・EV 導入支援など

9) 11月イベントで取り上げてほしいテーマをご記入ください。

- 脱炭素に向けた資金調達・補助金活用
- 事業所の先進事例
- 補助金活用
- 産業部門における GHG 排出量削減に関する情報提供
- 岡山県内自治体のゼロカーボンに向けた取組み状況
- 脱炭素に向けた資金調達・補助金活用
- 中小企業ができそうな省エネ・脱炭素施策の具体例
- 脱炭素に関する補助金活用について、新しい情報を把握したい。
- サプライチェーン排出量への対応、脱炭素に資する設備投資に向けた資金調達、社内（組織内）での合意形成・機運醸成→一般的に脱炭素は他の課題・取組に比べて優先順位が劣後する印象

- 再生可能エネルギーの導入実務、自治体と企業が一緒に補助金を活かしたとりくみ事例など
- 中小企業における省エネ推進の進め方
- 有効だった取組事例の紹介等
- 企業が求められている脱炭素の実態
- 再エネの導入実務・成果

10) 本日の研究会へのご意見・ご感想、今後の研究会に対するご要望、第2回研究会で取り上げてほしい内容等がありましたらご記入ください。

- 産業部門における GHG 排出量削減に関する情報提供
- 中小の小企業が取り組んでいる事例、優秀な取り組みがあれば共有して欲しい
- 今後も地域脱炭素に向けて協力していけるよう努めます。よろしく願いいたします。
- 事後に発生した疑問質問はどうすれば回答頂けるでしょうか。
- 国や自治体の脱炭素への取組み具合をタイムリーに把握したい。
- 浜松市様の取組事例では課題の一つとして自動車メーカーの Tier2 以下事業者の機運醸成（意識改革）が挙げられていたかと思います。その課題解決に向けた取組を通して取組前には知らなかった・分からなかった気づきや示唆がございましたら、ぜひご教示いただけますと幸いです。
- 浜松市様のお話が大変勉強になりました。具体的な施策を知ることができる機会は大変ありがたいです。
- とても参考になりました。ぜひ今後も参加させてください。
- 様々な補助・支援施策を知ることができ、お客様へのご提示だけでなく、自社の取組や EV・リフォームなど様々な事象に活用させていけそうです。
- 意見交換の時間がもう少しあるとよいと思いました。

以上